

第 39 回（就労支援）分科会報告書

1. 開催日時:平成 29 年 12 月 4 日(木)12:45～15:00

2. 開催場所:はなやぎの里 3 階

3. 参加者(所属のみ)

八女あかり、ディアスポラ、さんふらわあ、筑後特別支援学校、サングリーン、わ～よか、夢工房、第二八女作業所、陽だまりの里、のぞえ風と虹、ミライプラス、年輪の園、若楠園、八女市、リーベル

4. 実施内容

『フラワーパッケージセンター(A 型)・夢と希望(B 型) 見学およびグループワーク』

○フラワーパッケージセンター(A 型)について

◇山口施設長より

- ・事業拡大への取組みをしている(トマト・ガーベラ)
- ・開業当初は 3～4 名であり、職員で対応していた
- ・機械が 200 万円ほどで、赤い羽根募金により購入
- ・JA と連携することで仕事を調整しているため、災害時も

JA との調整が重要。

・A 型で仕事が間に合わない場合は、B 型へ流し相応の工賃を支払っている。

◇質疑応答

Q.ガーベラ等が災害等で入らない場合の対応はどのようにしているのか

⇒ JA が黒木、上陽、八女で複数個所に分かれているため、大丈夫だと思うが、今後対処については考えていく必要がある。

Q.定員は

⇒ 10 名

◇グループワークによる検討

- ・JA との協力が強み
- ・他 PC と変わらない技術力
- ・安定した作業量と収入
- ・皆が仕事に集中している
- ・利用者同士の仲間意識が高い
- ・利用者間でやりとりがしっかりできている。



○夢と希望(B 型)について

◇姫野管理者・新改副施設長より

- ・給与(工賃)は1万~2万ほど
- ・広川、八女、久留米、筑後の方々が利用。割合は同じぐらい

- ・工賃UPのための作業については、検討が必要

◇グループワークによる検討

- ・「急いで」ではなく、「ゆっくりしてくれ」というところに、メンバーの雰囲気だけではなくスタッフの意識も感じた
- ・自主的に作業ができている
- ・ミスが出にくい作業環境を作っている



○A型とB型の違いについてーグループワーク

■A型

- ・仕事中心
- ・最低賃金が保証されているので、プロ意識がB型より高い
- ・スタッフは見守る程度で、利用者同士でスムーズに作業できている

■B型

- ・スタッフの利用者への意識が強い
- ・施設外作業について、
利用者の意識が低いように感じる
- ・工賃を上げていくための
課題(利益を上げるなど)が多い
- ・スタッフが利用者についていることが多い



A型とB型の違いは、利用者さんのニーズに合わせた作業量